



RI 第 2 6 1 0 地区

東となみロータリークラブ会報

2012-2013 年度 No. 1 6

事務局 〒939-1635 富山県南砺市福光 7336-4 福光会館 3F

ふくみつ光房内 TEL 0763-53-1333 F A X 0763-53-1334、

inashorc@athena.ocn.ne.jp

2012-2013 年度 会長 河合耕一、幹事 上田昭二

2012-2013 年度 RI テーマ



「奉仕を通じて 平和を」

(田中作次会長)

例 会 記 録

第 1 6 4 2 回例会

平成 2 4 年 1 0 月 1 7 日(水) 井波文化センター

1. 点 鐘 会長
2. ソング：四つのテスト
3. ビジター：河合映浩君(南砺 RC)



4. 会長の時間：大変忙しい中ではあるが、日曜日と月曜日、同級生 5 ～ 6 人に誘われて日光に行き、華厳の滝などを見てきた。この時感じたこと。ガイドの説明を聞くとと鳥合の集がただそこへ行くのとでは随分違う。4 回目の日光行きであったが、初めて聞いたことが多かった。先達は持つべきもの、と言われるように、なるほどと納得したことが多かった。このロータリーでも、それぞれの分野の皆さんから日頃聞けない話を聞いて、それが目から鱗であったり、新しい発見があったりする。1 人でブラブラして考えたり見たりするのも良いが、キチンとした解説があるとそれは違う。かつて日展で横山先生から解説を聞きながら見たことで大変効果があったことを思い出した。日光では、溜まった疲れから宴会途中で抜け出し、9 時過ぎに床

に就き、朝まで爆睡。お蔭で体の調子が良くなった。でも翌日の火曜日 1 日仕事に振り回されると元に戻った。再来週の秋の旅行でリフレッシュできるのを楽しみにしている。



5. 幹事報告(木村副幹事)：高畑会長の時の幹事を務めて以来、30 年振りの務め。上田君は多忙。今日は東北へ添乗の勤め。代役も間接的な社会奉仕。①2015-16 年度ガバナー・ノミニニー候補の告知(各テーブル配布)やぎゅうよしはる 柳 生 好 春 君 (野々市 RC)。私塾経営。②ガバナー公式訪問時、当 RC の新しいバナー提供に対するお返しとして他 RC バナーが郵送で届いている。回覧済。
6. 委員会報告：①社会奉仕委員会(山本委員長)：(各テーブルに実施要領配布)11 月 8 日の「いい歯の日」の実施要領を作成した。10 時から 12 時の間に出席できる方はお願い。福野での秋の落ち葉拾いは 11 月の後半に予定。②会報委員会(山本副委員長)：先月からテープレコーダに切り替え、密度が濃く質の高い会報を届けるよう努力している。難しい内容、専門用語

や声の小さいことも。デジカメの準備には感謝しているが、できれば卓話の抄録プリント、CDなどデジタル記録でのご協力はありがたいです。会報委員の2人とも欠席ということもありましたので何卒ご協力をお願いします。③出席委員会：本日 20 名中 13 名出席（65.00%）

7. ニコニコBOX(SAA：本日 7 名 7500 円)

河合会長：マーシ園だより、なかなかの編集ですね。

中島さん指導ですか？

小西会員：先週の水曜日で第 3 分区のガバナー公式訪問、無事全て終了。後は、11/10、11/11 の地区大会です。よろしくお願いします。

三谷会員：全国美容コンテストで、孫が洋装花嫁の部に出場し 5 位(30.人中)になりました。

山本会員：11 月 8 日、いい歯の日キャンペーンの実施要領を持参。よろしくお願いします。

中島会員：先週末、高岡万葉 RC の夜間例会にメイキヤップ、ビールを飲みながらの例会、なかなか良いもの。又、行きたくなりました。

水島会員：本日、卓話当番です。よろしくお願いします。

河合映浩君：早退します。



卓話「手紙のしきたり」水島政光会員

水島会員：いよいよ選挙が迫ってきた。皆様何かとご多忙と推察します。卓話で何を話せばよいか分からない。水曜日は多忙な方が多く、ある方に卓話をお願いしていたが断られた。先輩方がおられるが、手紙のしきたりやマナーについて話す。近年はワープロ、パソコンや電子メールが多い。手紙の方が古く、これを簡略化したものが葉書。葉書はあくまでも便宜的なもの。重要なものは手紙を使う。表書きの様、殿、御中の使い分け方は、相手が団体なら御中。団体の中の複数の全員が御中となる。各位様は誤り、各位でよい。他に机下、侍史、お手元が見られる。裏書については、封緘の場所は近年メを書いて終わるが、一昔は凝っていたよう。封や緘の記載も。慶事の場合だけは寿を書く

そうだ。頭語と結語について。拝啓の「拝」は謹んでの意味で、「啓」は申し上げるの意味。拝啓に対しては敬具で閉め、謹啓に対しては敬白。急な場合は「急啓」を。結びは「早々」。早々は走り書きで失礼しますの意味。前略とか冠省などの結びも「早々」。お悔みの場合は頭をつけな

い。結びは「敬具」。女性の場合は「かしこ」。以前 候

文もあったが、結びは「かしこ」。かしこの意味は「恐れ多い」や「これで失礼します」。時候の挨拶について。春は「頒春」が多いが、新春を讃えた喜びのこと。啓蟄もある。今の暦と旧暦とは異なる。時候用語は旧暦に合ったものが多く、1 か月前くらいとなる。年賀状に入るが、元旦では挨拶まわりの風習があったが近年は廃れた。年賀状はその代わり。暑中見舞いもお中元などの略式。最後に手紙の禁忌言葉に入る。結婚式、新築、誕生日では「わかれる」「はなれる」「さる」は使わない。出産では「ながれる」は禁忌。うっかりと「時の流れは早いもので・・・」と話しがち。ダブル言葉「くれぐれも」「重ね々」は慎重に。選挙でも「再び」「いずれ」「また」は省くのがよいだろう。

天神様について。表具屋として 9 月頃になると天神様が 100 本から 200 本の注文。一昔は家中、空いているところが全て天神様の表具で一杯。子どもの頃は押入れで寝たことも。これは子どもの楽しみでもあった。天神様は高岡からの注文。昔は三段表具が主流。最近では天神様が様変わり。神式と呼んでいる。外に裂、うちに細い裂、中に本体が入る。筋を入れて 3 本を揃える表装となった。価格の釣り上げが目的かなとも。天神様は富山県、特に砺波地方が盛ん。何故盛んになったのか。前田の殿様の祖先が菅原道真。でも金沢では天神様は飾らない。福井県は盛ん。福井の殿様が小さい絵に描いた道真公を配布したという。これを富山県人が福井の土産として買ってきて富山県に広まったという説。富山県でも呉西が盛ん。今は井波彫刻の天神様が普通だが、昔は高岡に彫刻が見られた。天神様には掛け軸と木彫刻とがあるが、掛け軸が 8 割、木彫刻は 2 割。今は後ろに掛け軸の天神様、その前に木彫刻の天神様を飾る家が多い。掛け軸のそれは先代のもの。掛け軸で先代の天神様といえども神様は捨てられないと、修理して飾る人も。もともと長男出生時に実家が贈るものであったが、近年は弟にも淋しかろうと親が贈るという傾向がある。